

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2015/04 前期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆特集 進路概況 ～国公立大学現役110名 東大・京大等最難関大にも現役合格～◆

新年度が始まり、生徒の皆さんは気持ちも新たに、意欲もあがっていることと思います。新入生のみなさんは、ご入学おめでとうございます。本校の進路指導理念は「志を高く、易きに流れない」です。これは、生徒の皆さんに対してのみ有効な理念ではありません。我々教員自身も、常に心に留めておくべき理念として、受け継がれています。伝統校ならではの良さを大切にしつつも、現行の大学入試センター試験の廃止等、新たな動きにも対応した進路指導を展開したいと考えております。保護者の皆様方には、ご理解・ご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

今回の進路通信は、平成27年3月に卒業した生徒の進路状況についての報告ですが、報告の前に、模擬試験・センター試験・入試結果の情報提供についてお願いがあります。(同内容の文書をお子様を通じて後日配布いたしますので、合わせてご覧ください。)

模擬試験・大学入試センター試験・ 大学入試結果等の情報提供のお願い【重要】

生徒の皆さんに対して進路指導をするにあたって、以下のお願いがあります。趣旨をよく理解し、是非協力をお願いします。

—依頼事項—

生徒の皆さんの

ア・模擬試験(スタディサポートを含む)結果

イ・大学入試センター試験結果

ウ・大学入試に関する受験および結果

等の個人情報、校内で集約し、校内資料として活用する他、河合塾・ベネッセコーポレーション・駿台予備学校・代々木ゼミナール・学習研究社等の各種調査等に提供することに同意してください。尚、校内で集約した個人情報を外部に報告または提供する際には、生徒氏名を削除する等、情報の取り扱いに関しては最大限の配慮を行うことを約束いたします。

加えて、第3学年の生徒の皆さんの合格状況を氏名入りで校内に掲示することを承諾して下さい。後輩達の励みになります。

—目的—

本校の後輩の進路指導に活用することを目的としています。そのため、個人情報は統計処理され、主に来年度以降の志望校合格判定等受験情報の基礎資料として活用します。

過去、先輩達が提供してくれた貴重なデータのおかげで現在本校の進路指導は大変充実しています。生徒の皆さんは、上記情報提供についてどうしても同意できない場合には、担任に申し出て下さい。

昨年度の大学入試センター試験は、前年度に比べ、国語の全国平均が20.55点あがったのですが、逆に数学ⅡBの全国平均が53.94点から39.31点に下がりました。全国平均が4割を下回るという結果になりました。しかし、900点満点にしたときの全国平均は、26年度より、27年度入試のほうが、若干上がりました。つまり、数学ⅡBの平均は低かったのですが、上位層はある程度堅実に点数を重ねていたものと推察されます。特に理系の上位者は、国語の平均点が大幅に上昇し、得意の数学が難しかったことから、合計点を伸ばしやすかったようです。反面、国語を得意とし、数学を苦手にしてきた文系生徒は、数学で大いに点数を落とし、合計点が伸びずに終わった生徒も全国的には多かったようです。

つまり、センター試験の合計点数が伸びた生徒と、伸びなかった生徒の幅が広がった年と言えます。本校数学教員によると、平素から計算をはやく、正確に実行する練習を積んでいた生徒や公式等を暗記するだけで終わらず、なぜ公式として成り立つのか、そういうことをも考える姿勢のあった生徒は、数学ⅡBといえども意外と点数を落とさず済んだようです。

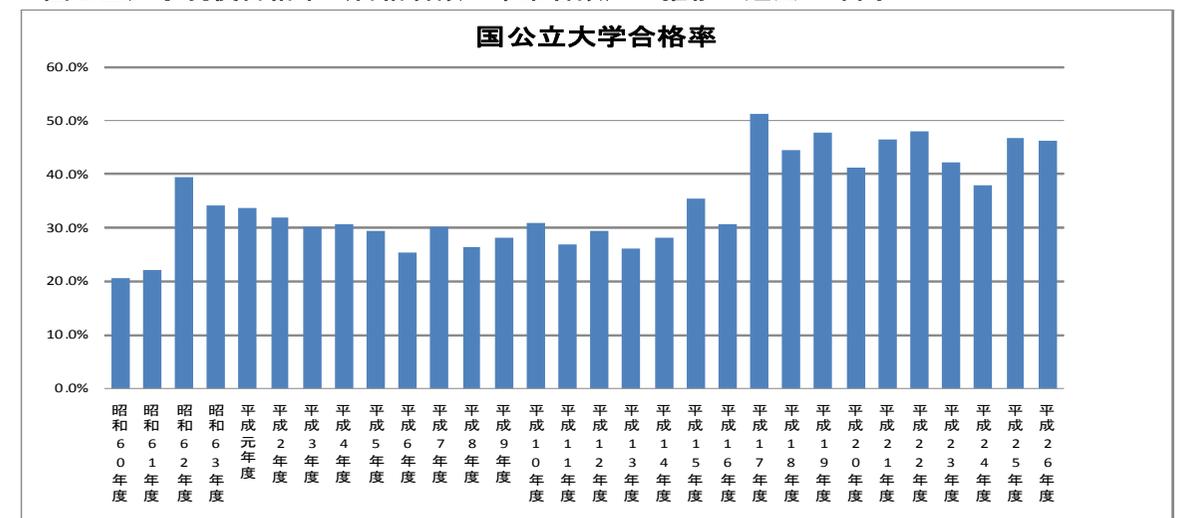
生徒一人一人に対し、基礎力の養成から、実践力にいたるまで、さまざまな力の育成に取り組んできました。その結果がまとまりましたので、報告します。

1. 国公立大学入試の概要

まず本年度の国公立大学入試についてみていきましょう。過去30年にわたる合格者の推移をグラフにまとめました。

国公立大学現役合格者数 110名(前期まで 78名・中・後期 32名)
国公立大学現役合格率 46.2%
1学級あたりの国公立大学現役合格者数 18.3人

■国公立大学現役合格率(合格者数/卒業生数)の推移—過去30年間—



全体的にいうと、何となく国公立大学を目指すという生徒は大いに減り、自分の学びたいことに合わせて学校選びをしていました。大変よい傾向だと思います。ゆえに、学科名のみで志望校を選んだりせず、学べる内容などさまざまなことを調べた上で、志望校を絞り込んでいた卒業生が多かったのが特徴です。これは、是非在校生に引き継いでほしい姿勢でもあります。

さて、今回は国公立大学へ現役で、のべ110名が合格、現役合格率は46.2%でした。この結果は、史上6番目の好結果でした。難関大学では東京大学の理科Ⅰ類や京都大学の理学部にそれぞれ1名ずつ現役合格を果たしました。さらに、北海道大学の獣医学部にも現役で1名が合格しました。北海道大学の獣医学部は、同じく北海道大学の医学部よりも難しい、超難関です。なんと合格者の90%以上が道外出身者で占められるのも特徴です。ゆえに前期日程で合格した道内勢はたった2名しかいません。前期日程で現役合格を果たしたのは、本校生のみという快挙です。

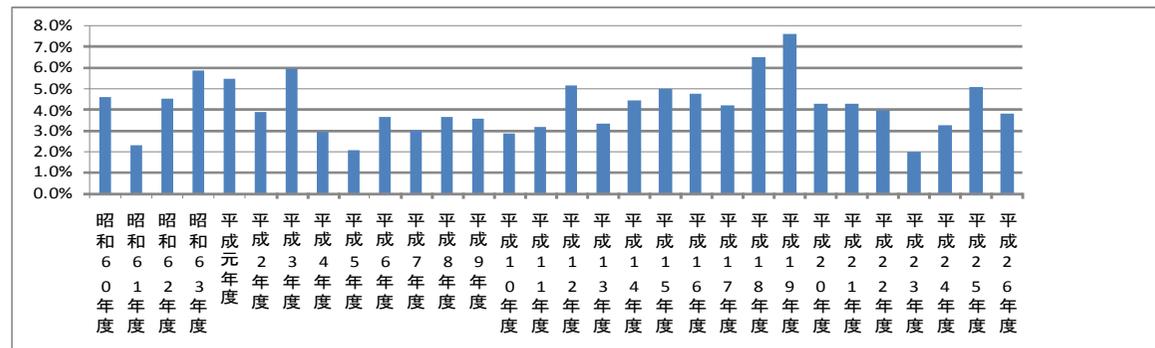
医学部医学科へは、現役で1名、過年度生でのべ4名(実質3名)が合格しました。

また、国公立大学の薬学部にも現役で3名、過年度生で1名が合格を勝ち取りました。国公立大学の薬学部といえば、大変な難関ですが、見事合格を勝ち取りました。1年前とは逆に、今回は高い学力層の生徒は医学科以外の志望が多く、医学科以外の大学に数多く合格者を出すという結果になりました。

ちなみに、文科省の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受けてまる3年が経ちました。つまり3月に卒業した生徒達はサイエンス1期生にあたるわけです。理数科の生徒を中心に、学び、それを少し深めていき、まとめたり発表したりするという能動的な真の「学び」の楽しさ・厳しさを体験した学年が卒業したわけです。このSSHの取り組みの目標は、自分たちで能動的に学習し、深めていく生徒の育成にあります。この姿勢が大学受験そのものにも、大学入学後にも生きてくると考えています。そういう意味においては、卒業生は受験勉強にも能動的に取り組んでおり、それが国公立大学の合格に結びついたと言えます。また、何よりも、大学進学後の「伸び」が格段に違うのではないかと考えています。卒業生の活躍に期待したいところです。

東京大学	理科 I 類	■	くん
京都大学	理学部	■	くん
北海道大学	獣医学部	■	くん
東京工業大学	第2類	■	くん (過年度)
旭川医科大学	医学科	■	さん
北海道大学	医学部医学科	■	くん (過年度)
岩手医科大学	医学科	■	くん (過年度)
聖マリアンナ医科大学	医学科	■	くん (過年度)
獨協医科大学	医学科	■	くん (過年度)
千葉大学	薬学部	■	さん
徳島大学	薬学部	■	さん
金沢大学	薬学類	■	さん
東北大学	薬学部	■	くん (過年度)

■北海道大学現役合格率（合格者数／卒業生数）の推移—過去30年間—



北海道大学前期日程合格者のうち道内勢の占める割合は、年々少なくなり、約41.5%と過去最低を記録しました。前述の通り、獣医学部は、90%以上が道外勢で、これはよく知られたことですが、水産学部でも、道外勢は約62%にも達しました。道内勢が苦戦する中、9名の現役合格者がでました。後輩達も続いて目指してほしいと思います。

2. 私立大学入試の概要

私大入試においてもがんばりが見られました。早稲田大学にのべ4名（実合格者3名）の現役合格者が出たのは久しぶりでした。また上智大学に1名が現役合格し、中央大学に8名が現役合格するなど、健闘する姿が見られました。

反面、早い段階で私大型の3教科の勉強に絞った生徒の中で明暗が分かれたことも事実です。科目を絞る理由としては、数学が苦手だということをあげる生徒が多いです。しかし、

英語も国語もたいして得意ではない状況での科目減は、失敗を招くこともあります。きちんと担任の先生と相談することが大切です。

慶應義塾大学	理工学部	■	くん (過年度)
早稲田大学	法学部・商学部 教育学部 先進理工学部	■	くん さん くん
上智大学	法学部	■	くん

■難関私立大学受験結果・のべ数（ ）内は昨年度

大学名	現役受験者数	現役合格者数	大学名	現役受験者数	現役合格者数
慶應義塾大学	1 (13)	0 (5)	立教大学	11 (8)	2 (3)
早稲田大学	17 (3)	4 (0)	中央大学	11 (21)	8 (8)
上智大学	2 (6)	1 (3)	明治大学	12 (18)	4 (3)
東京理科大学	4 (9)	1 (3)	青山学院大学	8 (4)	0 (1)
同志社大学	0 (5)	0 (1)	法政大学	26 (20)	4 (10)
立命館大学	11 (21)	2 (13)	関西学院大学	1 (3)	0 (1)

3 平成28年度（次年度）以降の入試に勝利するためには

1 安易な科目減をせず、最後まで粘り強く学ぶ

安易な科目減では、何も解決しない場合が多いです。よく考えた上で科目を減らす場合は、逆に勉強の質を増やす必要があります。（科目を減らすことは、失敗科目がつかれないことを意味します）学習する質を減らすための科目減には、何の意味もありません。

2 繰り返し学習は、家計にもやさしく、本人のためにもなる

次に、基礎基本の徹底です。入試問題に挑戦し始めると、難問・奇問を解けることが合格へのカギだと思う生徒がいます。しかし、まず大事なことは、基礎的な問題を確実に得点することです。そのために必要なことが繰り返し学習になります。浪人中、学校で買った化学の問題集1冊を15回以上も解き直し、北大の医学部医学科に合格した先輩や、同じく浪人中、日本史の教科書を10回以上読みこんで基礎を確認し、大阪大学に合格した先輩もいます。繰り返し学習は「家計にやさしく、実行した者は、合格に近づける方法」です。

3 目標を定め、それを達成する計画を立てる

「志を高く」という本校の進路指導理念にある通り、「国公立大学に入りたい」だけではなく、結論がでなくても自分の生き方・取り組みたいことを真剣に考えてほしいです。そして、自分の「目標」に次いで考えて欲しいのは「計画」です。計画を立てることを面倒くさがる生徒もいると思いますが、浪人生が予備校でまず、するよう命じられるのが「計画立案」であることから、重要性がわかると思います。

4 深める楽しさも味わってほしい

本来、大学とは結論がでるかどうかわからないことを深めて掘り下げていく場所です。深めて探究することを楽しいと思う素質が必要です。全科目でなくても、「楽しいから深めたい」と思う科目（分野）がある人は、入試でも強いと思います。